

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につける。

学年の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につける。

評価の観点

月	内容の まとめ	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	衣服の選 択	・ガイダンス ・衣服の働き ・目的に応じた着用と個性を生かす服装 ・衣服の計画的な活用 ・衣服の選択 ・基礎縫い（手縫い、ミシン縫い）	・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料について理解している。 ・基礎的な縫い方について理解しているとともに、適切にできる。	衣服の選択について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
9	衣服の 手入れ	・衣服の手入れ	・日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	資源や環境に配慮し、衣服の手入れや、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、衣服の手入れや、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
10 11 12	生活を豊かにする ための布 を用いた 製作	・生活を豊かにする工夫 ・製作の計画 ・ブックカバーの製作	・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。		

1	住居の機能と安全な住まい方	・ 住まいの役割 ・ 家族の生活と住空間との関わり	・ 家族の生活と住空間とのかかわりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・ 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	家族の安全を考えた住空間の整え方について問題をみだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
2		・ 日本の住まいと住まい方 ・ 健康で快適な住まい			
3		・ 安全、安心な住まい ・ 持続可能な住生活を目指して			
評価方法			ペーパーテスト ワークシート ノート 作品 行動観察	ペーパーテスト ワークシート ノート 作品 行動観察	ワークシート 振り返りシート ノート 行動観察

学習の進め方

- ・ 週に1回の授業なので、忘れ物には十分に気を付け、作業や課題に集中して取り組みましょう。
- ・ ワークシートの「ふりかえり」には、授業の感想だけでなく、自分の生活に関連させて気づいたこと、考えたこと、疑問に思ったことなどを書きましょう。
- ・ グループワークでは、友達の意見をしっかりと聞き、協力して課題解決できるようにしましょう。